

## 軽度外傷性脳損傷に関わる周知と労災認定基準の改正を求める

### 意見書

軽度外傷性脳損傷（MTBI）は、転倒や転落、交通事故、スポーツ外傷などにより、頭部に衝撃を受けた際に脳が損傷し、脳内の情報伝達を担う「軸索」と呼ばれる神経線維が断裂するなどして発症する疾病である。

その主な症状は、高次脳機能障害による記憶力・理解力・注意力の低下を始め、てんかんなどの意識障害、半身まひ、視野が狭くなる、匂いや味が分からなくなるなどの多発性脳神経まひ、尿失禁など、複雑かつ多様である。

しかしながら、軽度外傷性脳損傷は、受傷者本人から様々な自覚症状が示されているにもかかわらず、磁気共鳴画像法（MRI）などの画像検査では異常が見つかりにくいため、労働者災害補償保険（労災）や自動車損害賠償責任保険の補償対象にならないケースが多く、働くことができない場合には、経済的に追い込まれ、生活に窮することもあるのが現状である。

特に、通学路での交通事故やスポーツ外傷が多発している昨今、子どもたちが軽度外傷性脳損傷を発症する可能性も高くなっている。

さらに、本人や家族、周囲の人たちも、この疾病を知らないために誤解が生じ、職場や学校において理解されずに、悩み、苦しむ状況も見受けられる。

世界保健機関（WHO）においては、外傷性脳損傷の定義の明確化を図った上で、その予防措置の確立を提唱しており、我が国においてもその対策が求められるところである。

よって、大磯町議会は政府に対し、これらの現状を踏まえ、次の事項について適切な措置を講じられるよう強く要望する。

### 記

- 一、軽度外傷性脳損傷のため働けない場合、労災の補償が受けられるよう、労災認定基準を改正すること。
- 二、画像所見が認められない高次脳機能障害の労災認定に当たっては、厚生労働省に報告することとされているが、事例の集中的検討を進め、医学的知見に基づき適切に認定が行われるよう取り組みを進めること。
- 三、軽度外傷性脳損傷について、国民をはじめ、教育機関等に対し、広く周知を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年10月 1 日

内閣総理大臣	安倍	晋三	殿
衆議院議長	伊吹	文明	殿
参議院議長	山崎	正昭	殿
厚生労働大臣	塩崎	恭久	殿
文部科学大臣	下村	博文	殿

神奈川県中郡大磯町議会議長 奥 津 勝 子